

学校教育だより

令和3年 5月28日

第18号

発行 厚沢部町教育委員会

こころ豊かに学び、厚沢部町の未来を拓く人を育みます

令和3年度第1回学校運営協議会開催

4月下旬から5月上旬、各小中学校において第1回学校運営協議会（CS）が開催されました。

学校長と教頭先生から令和3年度の教育目標や目指す子ども像・教育活動についての説明があり、児童生徒の現況報告後、目指す子ども像の実現に向けて、どのような活動ができるかについて協議しました。

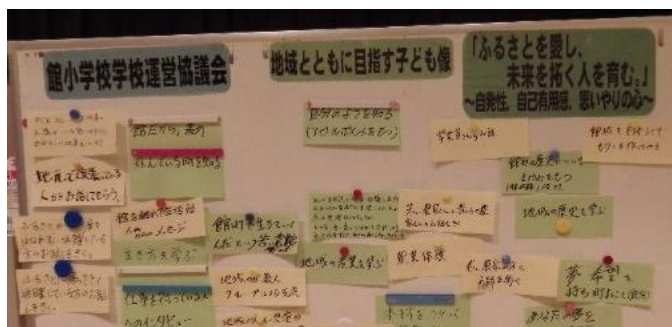
協議では、「地域の歴史や特色、産業などを学ぶ活動」「町おこしに力を注いでいる方の話」「農業体験」等、多くの取り組みについて意見が出されました。今後は、それらの意見を基に協議を進めていくことになります。

また、中学校CSで職業体験学習（インターシップ）についての報告と相談をしたところ、多くの案や情報提供がありました。

今後も学校運営への意見や情報とともに、社会に開かれた学校教育にご支援とご協力をお願いします。



厚沢部小学校の学校運営協議会



「地域とともに目指す子ども像」の取組の委員の考え(館小)

学校運営協議会とは？

教育委員会が、学校や地域の実情に応じて学校運営協議会を設置した学校をコミュニティ・スクール（CS）といいます。

○保護者代表・地域住民が委員となり、学校への必要な支援に関する協議をします。

学校運営協議会の主な役割

○校長が作成する学校運営の基本方針の承認。

○学校運営について、教育委員会又は校長へ意見を述べることができる。

○教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる。

各校においては

○平成30年度に厚沢部小、令和2年度から鶉小、館小、厚沢部中に学校運営協議会を設置しています。

令和3年度 各校の教育目標

各校、目標達成に向けた実践に取り組んで2か月が経ちました。令和3年度の概要を紹介します。



鶺鴒小学校

児童数：19名（7学級）

職員数：15名

学校長：浅沼 珠恵

教育目標：

「進んで学ぶ子」「思いやる子」「がんばる子」「健康な子」

重点教育目標：

「目標に向かって挑戦し、ねばり強くやりぬく鶺鴒っ子の育成」



館小学校

児童数：35名（8学級）

職員数：15名

学校長：佐藤 等

教育目標：

「くふうする子ども」「すなおな子ども」「心豊かな子ども」「はたらく子ども」「たくましい子ども」

重点教育目標：

「新たな発想をもち、互いに認め合い、目標の実現に向けて行動できる子どもの育成」



厚沢部小学校

児童数：110名（10学級）

職員数：28名

学校長：松村 浩良

教育目標：

「よく考える子ども」「思いやりのある子ども」「がんばりぬく子ども」「じょうぶな子ども」

重点教育目標：

「学んだことを活用し、適切に判断し、目標実現に向けて行動できる子どもの育成」



厚沢部中学校

生徒数：71名（6学級）

職員数：17名

学校長：玉置 英樹

教育目標：

「ふるさとを愛し、自ら学び、たくましく生きる生徒の育成」

重点教育目標：

「豊かな人間性と、主体的に行動できる資質・能力の育成」

学校における新型コロナウイルス感染症流行に伴う緊急措置対応

全道的に新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、北海道は緊急事態措置区域となり、各校では次のような感染症対策に取り組んでいます。

「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式～」を踏まえ、感染症対策を徹底します。

- 健康観察の徹底 → 風邪症状及び発熱時の登校の停止
- 感染リスクの高い教育活動の回避 → リスクの高い活動の中止または一時停止
- 学校外の行動における留意事項の徹底 → 20時以降の不要不急の外出回避
- 授業における感染リスクの高い活動は制限（家庭科の調理実習、音楽の合唱・合奏等）